## #-15 Cannot connect to license server system.

ライセンス管理システムに接続できない、もしくはライセンス管理サーバーが正常に起動していない可 能性 次のようなエラーメッセージ出ます。 moe: Can't check out license 'moe 2020.09': Cannot connect to license server (-15)

このエラーメッセージは、ライセンス管理システムに接続できなかったかライセンスサービスアプリケ ーションがライセンスサーバーで正しく起動しなかった可能性があります。まずは、ライセンスサーバ ー上で MOE が実行できるかご確認ください。さらにライセンスサーバーで次のコマンドを実行して、 ライセンスサービスアプリケーションのステータスを確認してください。

以下のコマンドでステータスを確認することができます。

\$MOE/Im/bin/Imutil Imstat -a -c \$MOE/license.dat

\$MOE は MOE のインストールフォルダです。実際のフォルダに合わせて入力してください。 具体例として、WINDOWS コマンドプロンプトなら次のようにコマンドを実行します。

C:¥ccg¥moe¥lm¥bin¥lmutil lmstat -a -c C:¥ccg¥moe¥license.dat

たとえば下記のように表示されます。例は6トークンのライセンスの場合です。 Users of moe: (Total of 6 licenses issued; Total of 6 licenses in use)

"moe" v2019.09, vendor: chemcompd, expiry: 30-jul-2020 floating license

user01 moe38 moe38 (v2019.0101) (MOE38/7788 103), start Thu 8/30 15:19, 3 licenses user01 moe38 moe38 (v2019.0101) (MOE38/7788 204), start Thu 8/30 15:24, 3 licenses

user01 はユーザー名です。この例では2つ MOE が起動しています。

もしライセンスサービスが起動している場合は、クライアントがライセンスサーバーと通信できていな い可能性があります。

まず、ライセンスサーバー上で以下のコマンドを実行し、IP アドレスをご確認ください。

C:¥ccg¥moe¥lm¥bin¥lmutil lmhostid -internet

以下のような出力が表示されます。

-----

lmutil - Copyright (c) 1989-2018 Flexera. All Rights Reserved. The FlexNet host ID of this machine is "INTERNET=192.168.100.19"

-----

この場合、192.168.100.19 が IP アドレスに該当します。

次にクライアントマシンで、以下コマンドを実行して応答があるかご確認ください。

ping 192.168.100.19

通信ができていれば、以下のような出力になります。 ------

192.168.100.19 に ping を送信しています 32 バイトのデータ: 192.168.100.19 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=128 192.168.100.19 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=128 192.168.100.19 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=128 192.168.100.19 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=128

192.168.100.19 の ping 統計:

パケット数:送信 = 4、受信 = 4、損失 = 0 (0% の損失)、
ラウンド トリップの概算時間 (ミリ秒):
最小 = 0ms、最大 = 0ms、平均 = 0ms

\_\_\_\_\_

通信ができていないと以下のような出力になります。

192.168.100.19 に ping を送信しています 32 バイトのデータ: 要求がタイムアウトしました。 要求がタイムアウトしました。

\_\_\_\_\_

通信できている場合は、クライアント上のコマンドプロンプトで以下コマンドで MOE が起動するかご 確認ください。

C:¥ccg¥moe¥lm¥bin¥moe -lic 7788@192.168.100.19

※7788 はライセンスファイルの SERVER 行の最後に記された 4 桁の数字です。 ※192.168.100.19 にはライセンスサーバーの IP アドレスを指定してください。

3. クライアントがライセンスサーバーと通信できている場合は、通信で使用するポートが利用できて いない可能性があります。

クライアントのコマンドプロンプトから以下コマンドを実行してポートが利用可能かご確認ください。

ftp

ftp> open 192.168.100.19 7788 ftp> open 192.168.100.19 7790

ポートが使用可能であれば、以下のようなメッセージが表示されます。

※Ctrl+C キーで接続を中止できます。

※7788 はライセンスファイルの SERVER 行の最後に記された 4 つの数字です。

※7790 はライセンスファイルの DAEMON 行の PORT=の後に記された 4 つの数字です。

-----

ftp> open 192.168.100.19 7788 192.168.100.19 に接続しました。

ftp> open 192.168.100.19 7790

192.168.100.19 に接続しました。

-----

ポートが利用可能でない場合は以下のようなメッセージが表示されます。

-----

ftp> open 192.168.100.19 7788

> ftp: connect :接続がタイムアウトしました

-----

この場合は、ライセンスサーバーのファイアウォールで 7788, 7790 ポートを使用した通信が許可されて いない場合があります。

ファイアウォールの設定をご確認ください。

※Windowsのファイアウォールの設定は以下のように行います。

コントロールパネル⇒Windows Defender ファイアウォール⇒Windows Defender ファイアウォールを 介したアプリまたは機能を許可⇒設定の変更 ⇒別のアプリの許可⇒参照 から C:¥ccg¥moe¥lm¥bin-win64¥chemcompd.exe と lmgrd.exe を追加して ください。

※ウイルス対策ソフトをインストールされている場合には、そのソフトウェアでファイアウォールの設 定をする必要がある場合があります。

その場合は、そのソフトウェアのサポートをご参照ください。